Dentist
&
Dental technician
Collaboration

OPEN SEMINAR

「欠損補綴治療において、その一つのケースにかける執念」

■ 歯科技工士
奥森 健史先生
有限会社デンタル・プログレッシブ

咬合・補綴治療計画セミナーインストラクター／K.S.I.主幹／
大阪大学歯学部 歯科技工スーパーバイザー／大阪SJCD会員／
日本顎咬合学会 指導技工士／デンタリード テクニカルアドバイザー／
デントウラム 公認インストラクター

～おぼろげなイメージから始まるラボワーク～

ラボワークにてクオリティーの高い補綴装置製作を目指すには、一つのケースごとに問題点や着目すべき点を如何にチェアーサイドから導くことができるかが勘所となる。診断・治療計画・補綴設計と進む中で治療ゴールとなるイメージを“おぼろげ”ながらでもラボサイドで考慮しておかないと、良い結果につながらないことは言うまでもない。遠方のチェアーサイドとの連携には重要な部分ではないであろうか。特に欠損補綴に可撤性義歯が選択された場合、部分的ではなくクロスアーチで構成する補綴装置製作になる。“木を見て森を見ず”では何から手を付けていいのか解らないと思う。

今回は、関東にてご開業の天川由美子先生をお招きし、臨床例をご紹介いただきます。ラボサイドにてどうイメージしていくかを考えていきたいと思います。

■ 歯科医師
天川 由美子先生
天川デンタルオフィス外苑前

日本歯内療法学会／日本接着歯学会／日本補綴歯科学会／
日本顎咬合学会／日本審美歯科協会／日本臨床歯科医学会(SJCD)／
港区麻布赤坂歯科医師会／Women Dentists Club(東日本支部長)／
AAE (American Association of Endodontists)／
AMED (Academy of Microscope Enhanced Dentistry)

補綴設計におけるラボサイドとの連携

包括的治療が必要な症例の場合、診査診断ののち治療計画を立案する。このステージからラボサイドとディスカッションしながら症例を進めていく。とくに複雑なパーシャルデンチャーのケースは、クラウンブリッジとデンチャー専門のテクニシャンの意見無しに進めていく事は、非常に困難だと感じている。

今回、可徹式欠損補綴の補綴設計においてラボサイドと連携が必須であった症例をご紹介し、考察したいと思う。

【概要】

日時	2019年 11月17日(日) 〈 13:00 ～ 17:00 〉
定員	50名（定員になり次第締め切らせていただきます）
場所	フクラシア東京ステーション C会議室 東京都千代田区大手町2-6-1　朝日生命大手町ビル6F
アクセス	○JR 東京駅・地下鉄 大手町駅 地下直結 ○JR 東京駅・日本橋口徒歩1分

【受講料】消費税込

	歯科医師	歯科技工士	K.S.I.会員
早期申込 2019年9月末までに受付	9,900円	8,250円	7,150円
通常申込 2019年10月以降に受付	11,000円	8,800円	

協　賛：Kansai Skill-up Innovation

K.S.I. OPEN SEMINAR 参加申込書

送信先FAX番号 **0120-24-0892**

氏名 □歯科医師　□歯科技工士　□K.S.I.会員	住所　〒　　-	
医院名／ラボ名	TEL	FAX

◎上記参加書の必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。お申込み後に、受付確認書と、ご請求書をお送りします。

お申し込み・お問い合わせ　株式会社デンタリード 〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15　TEL:06(6396)4448

DENTALEAD